

2023宮城県議選 立候補予定者 こども・子育て政策に関するアンケート

回答者名【大内真理】 立候補予定選挙区【宮城野】 所属政党【日本共産党】

問1. 子どもをもう一人、と望む家庭でも経済的理由から二の足を踏む親御さんもいると聞きます。東京都の018サポートや、大阪府の子育て世帯向け食料支援など、経済支援を行っている都道府県もありますが、子どもを生み育てやすい県にするために、宮城県には何が必要と考えますか？

食糧支援にとどまらず、医療費窓口無料化拡充や、給食費無償化、給付制の奨学金制度などの現物支給で子どもたちを直接ささえる仕組みが必要です。実現のために頑張ります。

問2. 埼玉県議会で提出されていた虐待禁止条例の一部改正案については賛否両論の声があがっていました。宮城県においてもこのような法案が必要と考えますか？

まったく不必要。

問3. 子育て世帯の関心が高いいじめ問題ですが、宮城県としてどう対策していくべきと考えますか？

宮城県独自の正規教職員を抜本的に増員すべきです。

問4. ひとり親家庭には、医療費のサポートがあるものの、一度立て替えた上で後日振り込まれる方法となっており、経済的に厳しいという声があります。これについてどうなっていくべきと考えますか？

立て替えた後の償還は即やめるべきで、窓口での無理化こそ実現すべきと繰り返し働きかけてきました。

問5. 今年8月に発表された宮城県医療的ケア児等相談支援センター(愛称:ちるふぁ)の調査によると、医療的ケア児は県内に333人います。支援は進んでいますが、一方当事者からはまだ相談してもらいたい回しになるという現状は変わってないという声もあります。医療的ケア児の相談体制としてはどうなっていくべきだと思いますか？

たらい回しにされるような状況は一刻も早く改善されるべきで、各種具体的な支援体制とのハブ的な役割を担うワンストップ相談窓口バージョンアップすべきと考えます。正規の人員増を保が可能となる予算増額を求めて頑張ります。

こども達のために、日本を変える

Florence